

人権月間の活動から見えた自己のあり方～認知症の学習を通して学んだこと～

長野県御代田町立御代田中学校生徒会

1 人権月間目標

認知症や高齢者に関する DVD や読み物に触れ、講座を受講した生徒が学年を越えて意見や考えを共有することを通して、自分にもできることがあるという実感を得て行動につなげることができる。

2 人権月間テーマ 「私たちにできること」

3 活動内容及び生徒の姿

(1) 校長講話

①人権を守るとは

「命を大切にすること」「みんなと仲良くすること」

②認知とは？

自分の外の世界を捉え、何であるかを判断したり解釈したりする。

③認知が違うことは当たり前、想像力を働かせよう。

(2) 道徳授業

生徒の感想（ワークシートより抜粋）

一人だけで抱え込んだりせず周りの人に助けてもらう。そして、人としっかり向き合うことが大切だと感じました。

(3) DVD「老いを生きる」※（総合的な学習の時間に全校で視聴）

※出典 企画：兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会、制作：東映株式会社

生徒の感想（ワークシートより抜粋）

- ・認知症の人とその家族のそれぞれの自由を尊重した世の中を作っていく必要があると思った。
- ・今回は認知症というケースだったけれど、どんなときでも相手を思いやる心や相手を大切にすることを忘れないようにしたい。
- ・自分も身の周りの人も認知症になる可能性があるけれど、高齢者も一人間として対等に、そして自由を確保されるべきだと思った。

(4) 認知症サポーター養成講座（学年ごとに受講）

協力：御代田中演劇部・社会福祉協議会・御代田町交番・西軽井沢ケーブルテレビ

生徒の感想（ワークシートより抜粋）

私自身、認知症の人がいたら面倒だなと思っていたのですが、この講座を受講して周りの人が助けていかないとやっぱりダメなんだなと思いました。もし自分とは赤の他人の人でも認知症っぽい人がいたら、助けるまでいけるか分からないけれど、話しかけてみたり大人の人を呼んでみたりするくらいはしたいと思いました。

(5) まとめ（生徒会活動の時間に14委員会+本部ごとに実施）

I 考えの共有

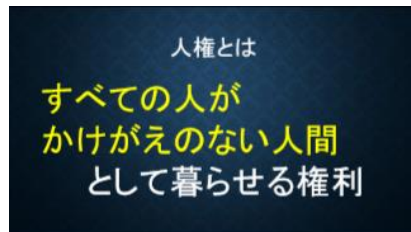
☞ 4つのテーマに対する自分の考え

を付箋に記入し、模造紙に貼る。

その際、共通点や相違点を明らかにしながら考えを分類していき、人権月間テーマに迫っていく。

<4つのテーマ>

- ① 認知症とはどんな症状なのか
- ② 認知症の方が必要としていることは何か
- ③ 学習をして認知症のイメージはどう変化したか
- ④ 個人、集団（学校）ができることは何か



II 出された考え

<p>① 認知症とはどんな症状なのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳の衰え(細胞が死ぬ)ことで起きる症状 ・物忘れ、思い込み、知能の低下等が起きる ・日常生活がこなしづらくなる ・望みを失い、うつ状態になる ・周りの人によって進行を遅らせることができる → 家族、地域の人との繋がりが強くなるかも？ 	<p>② 認知症の方が必要としていることは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優しく接して、不安・苦しみを理解する ・強く当たると早く悪化する→責めずに接する ・手助け、愛情、理解、コミュニケーション ・気持ちに寄り添い、受け入れる ・しっかりとサポートをする ・脳のトレーニングをこまめにする (・介護者への気遣いを忘れない)
<p>③ 認知症のイメージはどう変化したか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治らないものではなく接し方で進行スピードが変わる ・「介護する人」のイメージ ・いろいろな症状があるため、他人事にはできない ・介護者も本人も大変だが、一番苦しいのは本人 ・一人一人が知っていなければいけないこと ・すべてを忘れたのではない ・心の中には大事な家族の記憶が残っている 	<p>④ 自分たちにできることは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・症状が悪化しないよう、ストレスにならないかを考えて接する ・優しく声をかけ、話をよく聞く ・正しい理解、思いやり、声掛け、介護の手伝い ・小さな変化に気づく、相談できる環境を作る ・もし道などで見かけたら優しく声をかける ・介護する方の手助けをする ・相手を尊重しながら心の支えになってあげる ・知らない人がいたら教えて、助ける人を増やす

4 人権月間から見た新たな問いから見えてきたこと

「考えたこと・学んだこと・共有したことは、認知症の方と接する時だけの話なのだろうか？」

(1) 日常的に大切にしたい点

- ・困っている、いないに関わらず、人と接するときは相手の気持ちを想像することが大切。
- ・コミュニケーションスキルとして、日常的に相手を思いやる言動を心がけたい。
- ・人は皆平等であることを一人ひとりが認識する必要がある。



(2) 4つテーマの解釈を広げることで、人として大切なことを考えることができる。

- テーマ① ➤ 相手を理解しようとする自己との出会い【自己理解】
- テーマ② ➤ 特徴を理解し、相手に寄り添う気持ち【他者理解・相手意識】
- テーマ③ ➤ 当事者意識の芽生え
- テーマ④ ➤ 利他的に生きようとする意識、自分の言動をコントロールする意識

(3) 人権感覚の欠如や他者に対する差別意識の表れが、人を傷つける言動に繋がる。

☞世界のいじめや偏見、差別の原因を考える。相手の気持ちを想像し理解することは、社会で生きていく中で必要な力。

(4) 人権を学ぶことは、いじめを許さないための人としての生き方・考え方に繋がるものである。